

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	L S J 谷在家			
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画をもとに、児童一人ひとりの発達段階や特性に合わせた支援を行っている。	活動内容や児童の状況に応じて環境設定を行い、子どもが活動しやすい空間づくりを行っている。	保護者への情報共有の機会を増やし、家庭との連携をより深めていく。
2	運動活動や感覚遊び等を取り入れ、楽しみながら発達を促す支援を行っている。	職員間で情報共有を行いながら、児童の状況に応じた支援方法を検討している。	保護者同士の交流や情報交換の機会について検討していく。
3	保護者との連携を大切に、子どもの様子や成長について共有しながら支援を行っている。	日々の活動の中で成功体験を積み重ねられるよう支援内容を工夫している。	非常時対応や安全対策について、保護者への周知を進めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースが限られているため、活動内容や児童数によっては十分な空間を確保することが難しい場面がある。	日々の活動の様子や課題について、保護者へより具体的に伝えるなど、情報共有の充実を図る必要がある。	日々の支援の様子について、送迎時の伝達や連絡帳等を活用し、できたことや課題を保護者へ分かりやすく伝えていく。
2	活動プログラムの検討を職員全体で話し合う機会が十分に確保できていない。	保護者同士の交流機会や家族支援の機会について、今後検討していく必要がある。	保護者同士の交流や情報交換の機会について、行事等の中で実施できるよう検討していく。
3	保護者同士の交流機会や地域との関わりの機会が少ない。	非常時対応や避難訓練等の実施状況について、保護者への周知をより行っていく必要がある。	避難訓練や安全対策の実施状況について、お知らせ等を通して保護者へ周知していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	L S J 谷在家		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動活動を中心としたプログラムを取り入れ、児童が楽しみながら身体機能や社会性を育める支援を行っている。	活動プログラムが固定化しないよう、職員間で意見を出し合いながら活動内容を検討している。	外出活動や社会経験につながる活動を取り入れ、活動内容の充実を図る。
2	学校や家庭の様子を踏まえながら、児童一人ひとりに合わせた支援を行っている。	児童同士の関わりの中で社会性が育つよう、集団活動を取り入れている。	送迎時の伝達や情報共有を充実させ、保護者との連携を強化する。
3	児童が安心して通所できる環境づくりを行い、継続的な支援につなげている。	日々の活動や児童の様子について、送迎時の伝達や連絡等を通して保護者と共有している。	職員間での振り返りや情報共有の機会を確保し、支援の質の向上を図る。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の状況や活動内容によっては、職員配置や送迎体制に余裕がなく支援体制に課題がある。	送迎時の伝達や日々の様子の共有について、保護者へより丁寧に伝える体制を整えていく必要がある。	送迎時の伝達や連絡帳等を活用し、児童の活動の様子や成長の様子を丁寧に伝えていく。
2	支援前後の打ち合わせや振り返りの時間が十分に確保できない場合がある。	外出活動や社会経験につながる活動など、活動内容の幅を広げていく必要がある。	公園活動や外出活動等を取り入れ、社会経験につながる活動内容の充実を図る。
3	学校等の関係機関との情報共有や連携をさらに強化していく必要がある。	事故や怪我等が発生した際の確認や保護者への報告について、職員間での確認体制をより強化していく必要がある。	事故や怪我等があった場合の確認や報告について、職員間で情報共有を徹底し、保護者への迅速な報告に努める。